

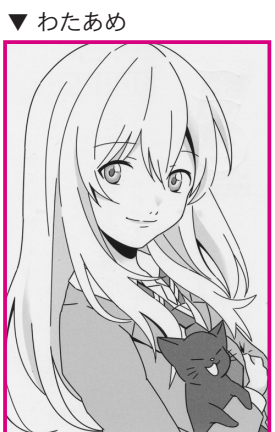
▲コマさん&コマじろう



▼殺せんせー



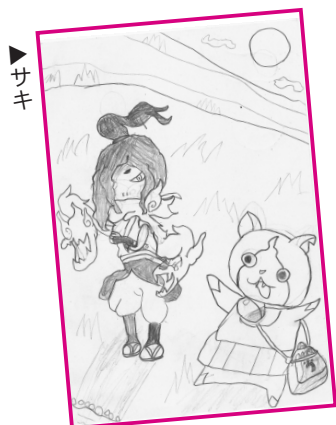
▼ワンちゃん



▼わたあめ



▼エミ



▼サキ

だれでもイラストレーター

毎月6人に500円の図書カードをプレゼント!

今月は投稿が少なかった…今がチャンス! かもしれない。

Artの種まき Planting Art

今年もやります! e (いい) セットチケット
～ホントにいいものを、本当にお安く～

毎年大好評をいただいているeセットチケット。今年は5月16日から一般発売開始です。主催事業6公演から3本以上をセットでご購入いただくと、大幅割引にてご購入いただけるというもの。割引率は3本で20%、4～5本で30%、6本で40%と大変お得なチケットです。

年会費実質無料の友の会(会費分全額を割引券として還元)では、お得なセットチケットがさらに10%引に。一般に先駆けて電話予約もできます。1回のご利用(チケット二枚以上)で一般購入より断然お得な友の会です。

[eセットチケット対象6公演]

- ①モノプロコ Japan Tour 9月8日(火)
サンパの新しい形を追求し、ブラジル・リオのカーニバルで圧倒的な人気を誇るパフォーマンス集団。
- ②三上博史主演「タンゴ・冬の終わりに」10月31日(土)
日本を代表する劇作家の一人、清水邦夫の傑作戯曲。映画監督として高い評価を得ている行定勲が演出。

タンゴ・冬の終わりに



三上博史 倉科カナ 神野三鈴 岡田義徳 ユズカマリ

- ③劇団山の手事務社 / シェイクスピア作
「タイタス・アンドロニカス」12月5日(土)・6(日)
世界三大演劇祭の1つ「シビウ演劇祭」で、故・中村勘三郎と同時に特別功労賞を受賞するきっかけとなった衝撃作。
- ④中川博士 × 仙台フィル × ムソルグスキー
「展覧会の絵」12月12日(土)
ピアノの錬金術師、中川賢一による曲目分析・解説(アナリーゼ)付きの演奏会。子どもたちの絵がアニメーションとなってオーケストラと競演!
- ⑤矢野顕子リサイタル12月17日(木)
ニューヨークを拠点に、世界的なアーティストと共演するスーパーミュージシャン矢野顕子。そのエネルギーあふれる唯一無二の歌声をご堪能ください。
- ⑥えずこ寄席2016「柳家喜多八 独演会」
平成28年2月19日(金)・20(土)
深みのある豊かな声、自然な語り口。人間国宝・柳家小三治一門下で抜群の存在感を放つ噺家・柳家喜多八が現代的な感性で包み、聴衆の心をぐっと掴みます。

えずこホール ☎ 52-3004 URL <http://www.ezuko.com>

平成27年度大河原町食育スローガン「わが家(町)の食を伝えよう」



ヘルスメイトの野菜たっぷり簡単レシピ



つぼみ菜のからし和え

★材料 (4人分)

つぼみ菜 280g、ミニトマト 8個
調味料 A しょうゆ大さじ1と1/3、練りがらし小さじ2/3、かつおだし大さじ1と1/3

★作り方

- ①つぼみ菜は塩少量を加えた熱湯でゆでる。冷水にとってさまし、水けをしぼって3センチ長さに切る。ミニトマトは1センチ幅の輪切りにする。
- ②Aを混ぜ合わせて①を加えてあえる。

【1人分】 ●エネルギー / 40キロカロリー 塩分 / 0.9g



～調理担当ヘルスメイトから一言～
つぼみ菜は柔らかくなりすぎないようにゆでましょう。つぼみ菜の代わりに、旬の青菜であればなんでも同じように作れます。簡単なので「野菜のおかずをもう1品!」というときに作ってみてください。
鈴木としさん(原前区)



▲ウスバシロチョウ

若葉が日ごとに濃くなるこの季節、街を歩く女性のシースルーの服装がまぶしく感じられます。実は、蝶の中にもスケスケの羽を持つチョウウが居ます。薄く透きとおった羽に黒紋だけのシンブルな模様。ウスバシロチョウです。
実は、この蝶は「シロチョウ」という名前が付いているのにアゲハチョウの仲間です。それで、「ウスバアゲハ」と呼ぶべきだと主張する学者が出した最近の図鑑では「ウスバアゲハ」の名前に変わっています。
一方で、昔の名前で出てほしいと考える古い虫屋もまだまだ多いようです。演歌にも昔の名前で出ている女性が唄われていますが、蝶の呼び方に限らず、いったん馴染んだ

名前には特別の思い入れが生じるようです。
この蝶は紫色の花が咲くムラサキケマンという植物を食べます。この植物は、葉の形が「けまん」と言うお寺の道具に似ているのでこの名前になったのだとか。
近頃は小山田や上大谷などで五月頃にウスバシロチョウをよく見かけるようになりました。どうやら食草のムラサキケマンが増えてきたのに合わせて分布を広げてきたようです。
町内で見られる蝶はどれもみな減っているものばかりだと思いがちですが、温暖化や食草の分布拡大などで見かけることが多くなった蝶だっているのが現実の姿です。
「何でも決めつけちゃ、ダメよ! ダメダメメエ!」ウスバシロチョウがそう教えてくれているような気がするの考えずきでしょうか。
次回は、子どもも大人も大好きなクワガタ三兄弟の話です。
元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん

わがまち文芸道場

初蝶に挨拶をしてすれ違ふ
ふるさとの味噌の香入れて浅瀬汁
吾妻 文字
石垣テル子
花三分雨の愁いを纏いおり
及川美沙子
陽春や猫が収まるダンボール
大久保和子
春光や木椅子は海へ向きしまま
日下 節子
ハクレンの光あふれて地潤す
鈴木 純子
亡き児等の声乗せてきし春の波
中野西範子
二の丸の風が乱して糸ざくら
永野 シン
はくれんの光の中の武家屋敷
藤原 恪子
山友の故郷の味の花菜漬
三塚 直樹
死ぬるとはいなくなるよ春の風
山家美智子
石投げて二重の水輪蟬の群れ
遊佐 徹
シチューことこと春のみぞれは
佐藤きみこ
涙色
【大河原俳句会】